

# 平成30年度第1回小田付地区意見交換会

ニューズレター

平成31年1月 喜多方市役所建設部建設課まちづくり推進室

平成27年度に市道下勝・北町線、小田付地区（南町工区）の道路・景観設計、平成29年度に小田付地区全体の整備方針作成や消雪設計を実施し、道路整備における幅員や消雪方法、また水路や街路灯整備の方法、今後のまちづくりの取り組みについて話し合いを行ってきました。

平成30年8月に小田付地区が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、道路整備についても南町工区から順次進めていくこととなります。これまでの計画案を振り返りながら、検討課題となっていた整備方法の決定や今後の整備に向けた管理面での役割分担等、改めて皆様の意見を伺うため、『平成30年度第1回小田付地区意見交換会』を開催しました。

平成30年度第1回

## 小田付地区意見交換会 の開催報告

H30.12.20 (木) 18:30 ~  
於：会陽館 (東町)

第1回意見交換会は、次のような内容で行いました。

1. 開会
2. あいさつ
3. 意見交換  
(1) 現計画案についての確認と課題  
(2) 計画案についての意見等
4. その他
5. 閉会



## 課題・今後の整備の方向性 こんな話し合いとなりました

### 現計画案の課題と対応案

#### 流雪溝位置と歩道消雪

- ・流雪溝を移設困難な電力地下ケーブルから避けるため、歩道側に配置。
- ・歩道部の消雪幅が狭くなり消雪効率が悪いいため、車道部の消雪パイプで歩道部の消雪を行う。  
(試験実施部で今年消雪具合を確認)

#### 景観水路

- ・東側水路は流量が少なく水質も悪いため井戸新設によるポンプアップという案もあり、維持管理等の課題がある。
- ・見せる水路だが、蓋掛けが必要な区間が多く、見えるのは全体の約3割程度。

#### 石張舗装と歩車道境界

- ・車道部全体を石張舗装とすると工事費が高い。車道外側線までを石張舗装とし、残りを歩道と同じ舗装とすれば、歩道空間を広く感じさせられるが、安全性の観点から歩車道境界が必要かが課題。
- ・歩車道境界を兼ねる街路樹は、流雪溝の配置変更により、設置スペースの確保が困難。

#### 照明

- ・歩車道境界にポロードを設置する場合、ポロード兼足元灯が可能。
- ・壁及びポールタイプの場合は住民の承諾が必要。

### 主な意見

#### 歩道の消雪は試験的实施が必要！

- ・同様の国道459号では、歩道に雪が残り車からのハネがひどい。車道歩道含め幅5.2m近くも流れるか。
- ・歩道が中途半端で凍結すると余計危険。
- ・屋根雪が歩道に落ちるから、歩道に消雪水が必要だという経緯がある。

- ・石張舗装の目地が水の通り道にならないか！
- ・歩道は消雪でなく除雪を含めて再検討を。

#### 東側は無理に水路は必要ないのでは？

- ・身障者用等スペース確保から水路はいらないのでは？
- ・ポンプの維持管理費等を含めて検討すべき。

#### 歩行者優先を想定してきた経緯を再考！

- ・石張舗装はずっと話し合いをしてきた長い経緯があるので今さらアスファルト舗装はない。将来的には歩行者優先になるかもしれないことも想定した工事を。
- ・水路をやめる代わりに一部街路樹ができないか。
- ・今あるポロードもそんなに景観を阻害していない。
- ・植栽樹は邪魔だし、管理上も×。

#### 電気代等の比較資料を！

- ・ポロードで照明も兼ねてしまえるのなら、それも○。
- ・整備方法の選択には、工事の事業費配分や管理費（電気代等）の各々のコスト比較をしながら検討すべき。

問合せ

喜多方市 建設部建設課  
まちづくり推進室  
TEL：0241-24-5240

今後も皆様のご協力を得ながら、道路整備について話し合うとともに、道路整備と合わせて、小田付らしいまちづくりのために意見交換会を開催いたします。